

研究課題名	頭頸部表在癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）と放射線化学療法（CRT）の治療成績の比較検討
研究の意義・目的	<p>表在型咽頭癌・表在型喉頭がんなどの頭頸部表在癌の治療法は機能温存の観点から放射線化学療法（CRT）が広く行われてきましたが、局所再発やリンパ節再発などの問題点がありました。</p> <p>食道、胃、大腸の早期癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）はすでに実施され低侵襲かつ根治性が高いという治療成績を上げており、2000年代後半から早期咽頭癌に対しても行われるようになりました。当院でも2009年から咽頭ESDが導入され、現在も行われています。</p> <p>ESDとCRTの治療成績を比較することで、病期にあったより良い治療法の選択が可能になるのではないかと考えます。</p>
研究を行う期間	承認後～2027年12月31日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2009年4月1日～2019年12月31日に大阪市立大学医学部附属病院で、咽頭癌・喉頭がん に化学放射線療法や内視鏡的粘膜下層剥離術を受けられた患者さんが対象です。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、検査日、治療日、既往歴、喫煙歴、飲酒歴、検査データ、内視鏡画像、内視鏡所見、CT画像など】</p>
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 研究責任者 永見康明
本研究の利益相反	<p>利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学</p> <p>（担当者氏名）永見 康明、大南 雅揮、河野 光泰</p> <p>電話番号：06-6645-2316</p>

